



ケニアという国を知っている
でしょうか？ 野生のゾウやキ
リン、ライオンなどがいるサ
バンナで有名な国、アフリカ
の東の方、赤道直下にある国
です。ここはその首都ナイロ
ビ。なんだかたくさんの人で
にぎわっているようですね。



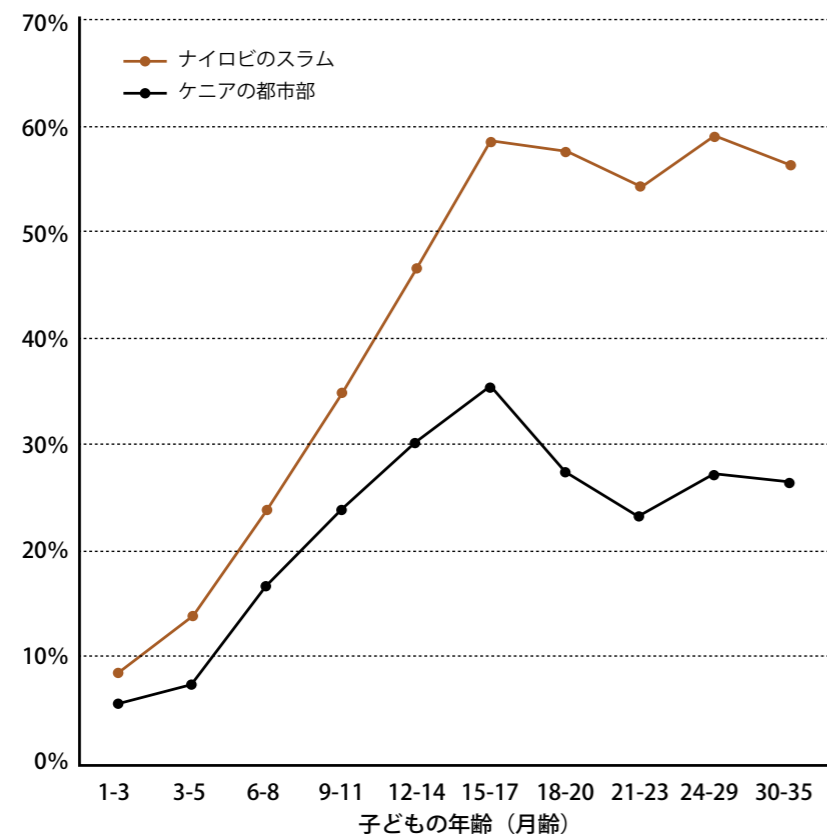
きょうは、「イディ」というイスラム教の断食^{だんじき}（ラマダン）
明けのお祭りです。
公民館^{となり}の隣の空き地に回転ブランコやスポーツカーの乗り
物、ラクダまでやってきました。
スラムがまるで「遊園地」のようになって、子どもたちは
大はしゃぎです。





スラムには失業中の大人おとながたくさんいます。
日本の将棋しょうぎのようなゲームをしたり、トウモロコシの粉が原料の「ブザア」という伝統的な手法でんとうで作られた安いお酒を、昼間から飲んだりしている人もいます。
工業用の化学物質ぶつしつを使った密造酒みつぞうしゅも出回っていて、飲んだ人の中には、体調くずを崩したり命を落としてしまう人が毎年います。

3歳未満児の発育阻害の蔓延率：ナイロビのスラムとケニアの都市部全体との比較



出典：都市化、貧困、および健康動態—妊産婦と子どもの健康データ（2006～2009年）、アフリカ人口保健リサーチセンター、ケニア DHS（2008～2009年）
世界子供白書 2012 p 21

上のグラフは、ナイロビのスラムとスラムではないケニアの都市部で、3歳未満の子どもの発育状態を比べたものです。発育阻害とは、栄養が足りないことが原因で、身体や精神がうまく発達しなくなってしまうことです。スラムの子どもの方が発育の悪い子どもが多いことがわかります。貧しさから食事を十分にとることができないためです。キコンバのあるクリニックの2階では、日本の支援団体が、十分に食べられていない子どもたちに食事を出しています。5歳くらいまでの子どもたちが来ています。バナナをかかえている人は「ママ・マジワ（ミルクお母さんという意味）」と子どもたちに呼ばれています。本当のお母さんのように、集まる子どもたちの面倒をみえています。

